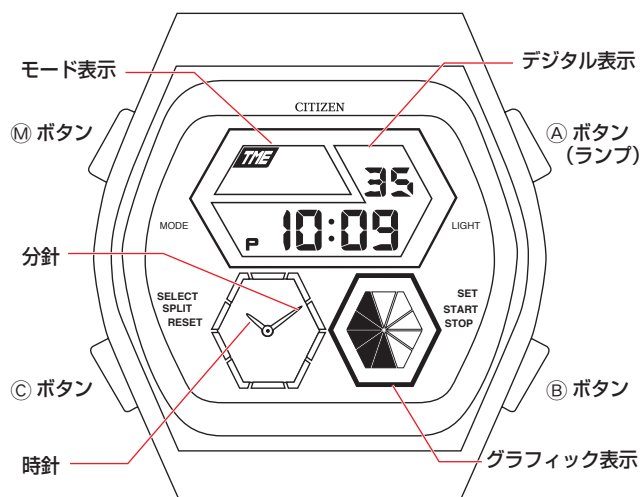


## C352 簡易操作ガイド

・仕様 / 操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  C352 取扱説明書

### 各部の名称



・モデルによってデザインが異なります。

### カレンダーを表示させる

1. (M) ボタンをくり返し押して、モード表示を「TME」にする 
2. (B) ボタンを押す  
デジタル表示にカレンダーが表示されます。  
・(B) ボタンを押すごとに、時刻表示とカレンダー表示が切り替わります。

### 時刻とカレンダーを合わせる

・アナログの時刻（時針と分針）とデジタル表示について、それぞれ時刻合わせを行います。

#### アナログの時刻を合わせる

1. (M) ボタンをくり返し押して、モード表示を「TME」にする 
2. (C) ボタンを 1 秒間以上押す  
デジタル表示で、時刻表示の「秒」が点滅し始め、時刻合わせができるようになります。
3. (C) ボタンをくり返し押して、デジタル表示に「」を表示させる
4. (B) ボタンを押して、時刻を合わせる  
・時針と分針は、連動します。  
・(B) ボタンを押し続けると、時針と分針が連続して動きます。  
・アナログの時刻に、午前 / 午後の区別はありません。
5. (M) ボタンを押して、終了する

#### デジタル表示の時刻 / カレンダーを合わせる

・カレンダーは、1 度合わせるとうるう年の 2 月以外修正不要です。

1. (M) ボタンをくり返し押して、モード表示を「TME」にする 
2. (C) ボタンを 1 秒間以上押す  
デジタル表示で、時刻表示の「秒」が点滅し始め、時刻合わせができるようになります。
3. 時報に合わせて、(B) ボタンを押す  
・(B) ボタンを押すごとに、時刻表示の「秒」が「00」になります。
4. (C) ボタンをくり返し押して、合わせる対象を選ぶ  
・(C) ボタンを押すごとに、点滅部分が、次のように切り替わります。  
「秒」→「分」→「時」→「月」→「日」→「曜」→「12/24 時間制」→「アナログ時刻修正」(→ 終了)
5. (B) ボタンを押して合わせる  
選んだ対象の表示が変わります。  
・「分」「時」「月」「日」「曜」を選んでいるとき：(B) ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。  
・12/24 時間制：12 時間制を選ぶと、「A (午前)」または「P (午後)」が表示されます。
6. 手順 4、5 をくり返し、他の対象を合わせる
7. (M) ボタンを押して、終了する

## アラームを使う

デジタル表示の時刻に合わせて、アラームが約 20 秒間鳴ります。  
 ・アラームは、「AL1」または「AL2」の 2 つの時刻を設定できます。  
 ・アラーム音は、いずれかのボタンを押すと止まります。

1. **M ボタンをくり返し押して、モード表示を「AL1」または「AL2」にする**  

2. **C ボタンを押す**  
 デジタル表示で、アラーム時刻の「時」が点滅し始め、変更できるようになります。  
 ・アラームが「ON」になります。  

3. **B ボタンを押して、アラームの「時」を合わせる**  
 ・B ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。
4. **C ボタンを押す**  
 デジタル表示で、アラーム時刻の「分」が点滅し始めます。
5. **B ボタンを押して、アラームの「分」を合わせる**  
 ・B ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。
6. **C ボタンを押して、終了する**

### アラームをオン / オフする

モードが「AL1」または「AL2」のときに、B ボタンを押します。  
 ・B ボタンを押すことに、アラームの「ON」 / 「OF」 (OFF) が切り替わります。

### アラーム音を確認する

モードが「AL1」または「AL2」のときに、B ボタンを押し続けると、押し続けている間アラーム音が鳴ります。

## クロノグラフを使う

1/100 秒単位 (開始 60 分以降は秒単位)、最大 24 時間まで計測できます。  
 ・他のモードに切り替えても計測は継続されます。

1. **M ボタンをくり返し押して、モード表示を「CHR」にする**  
 デジタル表示に、クロノグラフが表示されます。  

2. **クロノグラフを使う**

スタート / ストップ : B ボタンを押します。

- ・計測中に C ボタンを押すと、デジタル表示で「SP」が点滅し、経過時間 (スプリットタイム) が約 10 秒間表示されます。経過時間の表示中に C ボタンを押すと、次の経過時間が表示されます。

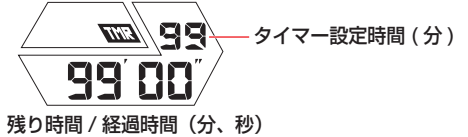
リセット : ストップ中に、C ボタンを押します。

- ・クロノグラフ終了後は、必ずリセットを行い、モードを「TME」にします。

## タイマーを使う

- 1 分単位、最大 99 分のタイマーを設定することができます。
- ・他のモードに切り替えてもタイマーは継続されます。
- ・カウントダウン終了後は、自動で経過時間の計測 (秒単位) が始まります。

1. **M ボタンをくり返し押して、モード表示を「TMR」にする**  
 デジタル表示に、タイマーが表示されます。  

### 2. タイマーを使う

スタート / ストップ : B ボタンを押します。

リスタート : カウントダウン中に C ボタンを押すと、設定時間から再度カウントダウンが始まります。

リセット : ストップ中に、C ボタンを押します。

- ・タイマー終了後は、必ずリセットを行い、モードを「TME」にします。

### 設定時間が過ぎると

カウントダウン終了音が約 5 秒間鳴り、経過時間の計測が始まります。

経過時間の計測をやめるときは、タイマーをリセットします。

### 設定時間を変更する

#### 1. タイマーをリセットする

2. **C ボタンを押して、タイマーの時間を設定する**  
 ・C ボタンを押し続けると、表示が連続して変わります。

### カウントダウン終了予告音を使う

以下の残り時間で、カウントダウン終了予告音を鳴らすことができます。

5 ~ 1 分 : 各分  
 1 分 ~ 10 秒 : 50 秒、40 秒、30 秒、20 秒、10 秒  
 10 秒未満 : 各秒

#### 1. タイマーをリセットする

2. **A ボタンを押しながら、B ボタンを押す**  
 予告音がオンのときは、モード表示の「TMR」が点滅します。  
 ・A ボタンを押しながら、B ボタンを押すごとに、予告音のオン / オフが切り替わります。

## オールリセットを行う

1. **A、B、C、M ボタンを同時に押す**  
 ボタンを離すと、液晶表示がすべて点灯します。
2. **いずれかのボタンを押す**  
 確認音が鳴り、オールリセットが終了します。

### オールリセットのあとは

オールリセットのあとは、時刻 / カレンダー合わせ、アラームの設定を行ってください。